

2012年2月 発行 日本共産党松浦市委員会 電話·FAX 0956-75-1947 ブログ「ゆう子のひろば」http://pub.ne.jp/yukoya 日本共産党松浦市委員会の見解を紹介します。



日本共産党松浦市議会議員 Þ う 記 議会だより

問題、

小さな学校も地域

化に深く関わ

って

いる

2011年12月市議会で日本共産党の安江ゆう子市議は、小中学校の統廃合

原子力防災問題、太陽光発電問題について一般質問を行いました。

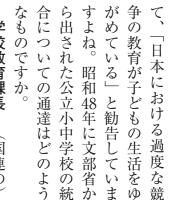
5 は、 それらの学校の保護者から複 ら始まっています。これまで いと質問しました。 校の統廃合は行うべきではな がされていないなか、小中学 また複式学級の教育学的検証 れています」と述べています。 消が要り、統廃合が必要とさ ていくためには複式学級の解 かなたくましい子どもに育っ 配置基本計画案」では、「心豊 出した「松浦市小中学校適正 委員会が昨年10月25日付で提 青島中学校です。松浦市教育 校、養源小学校(福島)と、 るのが大崎小学校、田代小学 す。統廃合の対象になってい ら、養源小学校は平成17年か 合が進められようとしていま 合意形成が確認できなくて、 安江 安江ゆう子市議は、住民の 松浦市では小中学校の統廃 田代小学校が平成7年か 青島小学校が平成2年か 松浦市では複式学級 無理な統廃合は行うべきではない

たか。 とか、問題を抱えていると という要望がだされていまし 社会性がないとか、そういう ということはない。 消についての要望が出された 委員会のほうに複式学級を解 か、例えば、学力が低いとか に行って教育学的問題がある けた子どもたちが中学や高校 安江 複式学級で授業を受 学校教育課長 直接、 教 育

事実はどうですか。 後にどんな影響を及ぼしたか 授業を受けた児童生徒がその 学校教育課長 複式学級の

> ということについての詳しい は大きい。 るというようなことでの課題 課題がある。どうしても実質 ぱり切磋琢磨する環境、社会 いないこと自体がおかしいで 授業を受ける時間が半分にな の情勢の面から小規模校には のよさは認めるものの、やっ の校長先生方からは小規模校 検証はしていない。ただ現場 安江 教育学的に検証して

連子どもの権利委員会が日本 の教育について三度にわたっ いわれましたが、そもそも国 はありませんか。切磋琢磨と



を説明されましたか。 れました。5月の教育委員会 が行った説明会で、この内容 っている」というふうに言わ 年の通達は「今でも効力を持 て伺いましたが、この昭和48 11月1日、文科省に直接行っ 民の理解と協力を得て行うと られるので、総合的に判断し としての教育上の利点も考え 通知は要約すると、統廃合を 意するとか、あるいは地域住 好ましい場合もあることに留 た場合、小学校を小規模校と して残置し、充実するほうが 進めるに当たっては小規模校 存じていない。文部省からの そのことについては、詳しく 安江 私は(2011年) 学校教育課長 Ī 「連の)

いうようなことです。



式学級を解消してもらいたい

統廃合の対象になっている上から大崎 小学校、田代小学校、養源小学校

も総合的に判 考慮しながら のよさを十分 模校であって 説明した。 うふうな形で いきたいとい 断して進めて 安江 学校教育課 小規模校 小規

中心となっています。



とは、 動会、大崎小学校の収穫祭、 とを説明していないというこ 田代小学校の地域とのふれあ 島民参加の青島小中学校の運 こどもの教育だけでなく、 安心のということもまた大き もの健やかな成長、教育を充 とは十分承知している。子ど ことから、ご指摘のように、 どう認識されていますか。 が、統合ありきではなかった もいいんだっていうようなこ く関わっています。例えば全 域のすべての住民の生活に深 ばならないと思っている。 そういう基本にたった安全・ 実していくということから、 いろいろ課題があるというこ 地域と学校のあり方について のではありませんか。市長は いなど。学校が地域の文化の のは密接な関係があるという な課題として取り組まなけれ 安江 学校と地域の関係は 市長 地域と学校というも 教育委員会の説明会 地